



干支の壁面

ぴよぴよグループの皆さんと一緒に作りました。2020年も皆様にとって幸多き年となりますように。



- 1 年頭のあいさつ
- 2 東日本施設協議会開催報告
医療福祉研修会
東大和地域自立支援協議会
- 3 クリスマス会
- 4 クリスマス・お正月のお食事
マイワールド
人事異動

令和2年 年頭のあいさつ

院長 柳瀬 治

利用者・ご家族の皆様、職員の皆様
あけましておめでとうございます。

職員の皆さんのたゆみない尽力のおかげで、仮設棟におきましても当センターは穏やかな正月を迎えることができました。年末年始に勤務された職員の皆さん、仕事初めの準備を担当した皆さん、そして利用者・ご家族の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

仕事初めに東京都福祉保健局内藤 淳局長の年頭のご挨拶を伺ってまいりました。「今年の抱負は原点回帰。原点とは一日たりともおろそかにせず、都民に誠実に向き合っていくことである。6カ月後には東京オリンピック・パラリンピックが始まるが、福祉保健医療に休みはなく、着実に仕事に取り組んでいきましょう」と述べられました。

当センターの原点、すなわち使命は、安全で安心できる質の高い療育を提供し、長期入所者の皆様のいきいきとした潤いのある生活と生命を守ること、同時に在宅で過ごされている障害児者の方々を支援していくことです。これらの使命を達成していくには、医療職・福祉職・事務職等多職種間の一層の協力と連携、ならびに利用者・ご家族の皆様との十分なコミュニケーションが重要です。利用者・ご家族の皆様も一緒になったワンチームを目指していきたいと思っております。

さて、当センターはいよいよこの10月に本館の大規模改修が完成し、11月には仮設棟から本館への移転を予定しています。皆さんとともに万全の体制を整え、利用者の方々やご家族が安心して移転に臨めるよう努めてまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりましたが、2020年が皆様にとりましても温かく実りの多い年になるよう祈りまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

第46回日本重症心身障害福祉協会東日本施設協議会開催報告

事務部 用度係 上丸幸男

令和元年11月7日(木)～8日(金)の2日間、都内のホテルベルクラシック東京にて協議会が開催されました。東京都会員施設が担当となり、当センターは幹事施設の役割を担いました。当日の参加者は、66施設218名(会場支援事務局含む)。今回の協議会では、おのこの利用者の年齢と状態に応じた日中活動のあり方、限りない可能性を追求する生涯学習の提供、ライフステージのすべてにわたる意思決定支援など、全施設に共通する喫緊の課題をテーマに掲げ、意欲的なプログラムを用意したこともあり、盛況の中、閉会することができました。会員施設様におかれましては、積極的なご参加とご配慮を賜りましたこと大変感謝しております。また、当センター職員においては講師依頼等をはじめ事前・当日準備やプログラム進行など、多大なご協力をしていただき誠にありがとうございました。



在宅支援室から

第3回医療福祉研修会を開催しました

在宅支援室 医療ソーシャルワーカー 南雲百合子

令和元年11月28日(木)に、「在宅医ってなあに？」～家族と支援者と一緒に考える～をテーマに、第3回医療福祉研修会を開催しました。講師には、重症児者の在宅診療をされている島田療育センターの大瀧先生をお迎えし、実践に基づいたお話を伺うことができました。グループ懇談では、訪問診療を利用しているご家族から、在宅医と病院主治医の連携もしっかりとれているとお話や、訪問看護を利用しているご家族から「本人のケアもしてくれるし、家族の心のやすらぎにもなっています」など心温まるお話も伺えました。ご参加下さった皆さん、ありがとうございました。



いんくる～インクルーシブ事業者推進事業 ～ 東大和市地域自立支援協議会

在宅支援室 医療ソーシャルワーカー 三村さやか

「インクルーシブinclusive」とは「すべてを含んだ」という意味で、多様性(障害、人種、ジェンダー、セクシュアリティなど)を理解し受け入れる概念としても使われます。「障害者差別解消法」や東京都の条例の施行に伴い、だれもお店などを利用しやすくなるよう「合理的配慮の提供」への取り組みが行われています。参加店などのリストは東大和市のホームページからご覧になれます。ぜひお出かけください。



いんくる参加店にあるステッカー



音楽あふれるクリスマス会

第1病棟 指導員 三村英明

令和元年12月10日(火)、令和最初のクリスマス会、だから特別に盛大なクリスマス会、ということではなく、シンプルにみんなで楽しく過ごすクリスマス会を企画しました。

まずはクリスマスに関する物語の朗読から始まり、静かな幕開けとなりました。その余韻を打ち消すかのように、今度はサンタさんに届け、とばかりに元気にクリスマスソングをハンドベルで演奏しました。しかし、まだクリスマスには早過ぎるのかサンタさんは現れません。ここでちょっとブレイクタイム。経口摂取可能な利用者の皆さんにはブッシュドノエルを、注入の利用者の皆さんにはフレッシュマンゴージュースがそれぞれ振る舞われました。あっという間に食べ終わってしまったところで、特別ゲストさんが登場。クリスマスソングを中心に話題の曲をピアノで演奏。その超絶技法に利用者の皆さんはもちろんの事、職員も目を丸くしていました。さすがのサンタさんもこの演奏には、「まだ早い」とは言っていられなかったのか、ちょっと早いクリスマスカードを配ってくれました。最後は2019年を振り返ってのスライドショー。嬉しい出会いがあり、悲しいお別れもあった第1病棟でしたが、令和2年は楽しい1年になりますように。



カラフルで楽しいクリスマス

通所 保育士 鈴木あずさ

12月16日(月)～20日(金)は、通所のクリスマスウィークでした。

月曜日と木曜日の2日間は、松ぼっくりでツリーを作りました。利用者さんの好みや似合う色のパーツを飾り、カラフルで可愛らしいツリーに仕上がりました。①作品は持ち帰り、飾って楽しんでいただきました。火曜日は2チームに分かれてオーナメントツリーを完成させるゲームをしました。利用者さんにお家の扉の中に手を入れて、隠されたオーナメントをみつけてもらいました②オーナメントは、柔らかな毛糸とお花紙で包み、シュガーライチの甘い香りも感じられるようにしました。お家をじっと見つめる方や扉の中に手を入れた途端、柔らかい感触に驚いた表情を浮かべる方と様々な反応がみられ、楽しく行なうことが出来ました。オーナメントには点数がついていて、得点を競いました。水曜日は午後にはイルミネーションの点灯式があるため、午前にイルミネーションの映像と音楽で気分を盛り上げました。点灯式では、サンタとトナカイが登場し、クジで点灯スイッチの係に選ばれた利用者さんと一緒に点灯を行ないました。沢山の美しく輝く電飾の光りに包まれて、利用者さんもととてもよく見ていました③金曜日はサンタ衣装に身を包んだ水野さんがギターでクリスマスソングを演奏し、とても盛り上がりました。「きよしこの夜」ではイルミネーションと共に、水野サンタの衣装も点灯し、しっとりとした雰囲気にも包まれて、素敵なクリスマスウィークのフィナーレを飾ることができました。



クリスマス・お正月のお食事

栄養科 管理栄養士 高岩美希

<クリスマス食>ジェノベーゼライス・牛肉の赤ワイン煮・トマトとアボガドのサラダ・プリンアラモードを提供させていただきました。クリスマスカラーの『赤と緑』をテーマに作りました。ライスはジェノベーゼソースで香りを楽しんでいただき、緑のリーフをイメージしながら赤と黄色のパプリカで華やかさを出しました。主菜の牛肉赤ワイン煮は、外国でクリスマスイブのミサなどで飲まれている赤ワインを使い軟らかくなるまで煮込みました。デザートは食べやすさを考えて、苺を添えたプリンアラモードにしました。

<お正月食>赤飯・鰯の柚庵焼き・盛合せおせち・いちご・雑煮風汁・ジョアを提供させていただきました。主菜の鰯は出世魚として縁起が良いと言われ、栄養価も味も今が1番美味しい時期です。付け合せの昆布巻(養老昆布)は『喜ぶ』とも掛けており、黒豆は『豆』(まめ)に元気に過ごせるようにと無病息災を祈って食されています。今年も栄養科一同、皆様が喜んで食べていただける食事を一食一食丁寧に作って行きたいと思います。本年も、よろしく願いいたします。



クリスマス 常食



クリスマス ソフト食



お正月 常食



お正月 ソフト食



思うこと

感じること

伝えたいこと

Vol. 14

スウェーデンを訪問して

第4病棟 生活支援科 田中輝昭

(約10年くらい前の話)スウェーデンのストックホルムに出かけました。目的は、ある重度身体障害者施設の訪問で、実際に療育を行っている場面や施設の環境を学びました。現地の療育スタッフの方は、様々な療育を行っていますが、特に大切にしていることは「歌声」だと話してくれました。粗大遊具を使用した活動では、ていねいに歌を歌いながら行うことによって、相手のリラックスをより促していくということです(日本の療育でも行われていますね)。その日、実際に自分が利用者の立場でバルーンに乗せてもらい、現地の療育スタッフの方に後方より抱きかかえながら歌声を聴くと(もちろんスウェーデン語の歌です)なんともいえない心地よさを感じ、とてもよいリラックスした状態になる事が出来ました。そんな経験からも言語や文化が異なっても療育の世界においては、共通するものが多くあることの認識も得ることができました。「歌」の存在って素晴らしいですね。

人事異動

編集後記

令和になって初のお正月です。今年は十二支の一番最初「子年」です。十二支は植物の循環の様子を表し、「子」は種子の中に新しい生命のぎざし始める状態で、「子年」は新しい物ごとや運気のサイクルが始まる年になると考えられているようです。気がつけば年が暮れて年が明けてのここ数年。今年こそは、芽を出し、蕾をつけ、花を咲かせるようなチャレンジをしようと決意をしたところです。皆様は良いスタートが切れましたでしょうか。今年も宜しくお願い致します。(ゲスコ)



東大和療育センターホームページ

東大和療育センター

検索

そよ風 第99号

編集
発行日
発行

院内報そよ風編集委員会
令和2年1月15日
東京都立東大和療育センター
東京都東大和市桜が丘3-44-10
Tel 042-567-0222